

事業所名

Hi-Nique!

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和8年

3月

1日

法人（事業所）理念	こどもたちの最善の利益を大切にし、一人ひとりの個性を尊重します。 一人ひとりの発達段階に応じて適切な支援を行います。				
支援方針	一人ひとりの発達過程を踏まえ、自立に向けた「生活力」を身につけられるように、学校や家庭では学びの機会が限られがちな調理活動を主軸として 五感に働きかける活動を大切にしています。				
営業時間	11時	15分から	20時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ後や外出先から帰った際の手洗いについては、衛生的な観点から視覚的支援などの環境調整の中で、適切なタイミングでの声掛けを行い、確認しながら行います。 ・身支度では、トイレ後の腰回りや上着の襟等の確認や食後の口周りの汚れの確認を声掛けと共に、鏡を見ながら自分で気づき整えることが習慣となるよう行います。 ・食事場面における実際の調理活動全般については、それぞれの工程について、丁寧に取り組み、できる部分は見守り主体的に取りくんでいただけることをサポートします。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に必要な基本動作を通じて、できる事は自信を持って取り組み「できた」ことを増やせるように「できる」ことの精度を上げていきます。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・行動に移せるように、ゆっくり、わかりやすい言葉、身振りやカードを用いて伝えます。 ・困った時に困ったことを伝えられるように、平時的時から嬉しいことや自分の気持ちを発信できるように、発信しやすい環境を整えます。 ・行動したことの成功の有無ではなく、自分で行動することの楽しさを共有し、うまくいかない時もチャレンジできたことを評価し伝え、次のチャレンジに繋げられるように見守り信頼関係を構築します。 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・意思の疎通をスムーズにするために、安心して過ごせる環境を整えます。 ・言葉や表情、ジェスチャーで「嬉しいこと」や「苦手」である自分の気持ちが正しく相手に伝わった時の嬉しさを体感できるように、ご本人と一緒に伝え方を見つけます。 ・他者との適切な距離感を日々の活動場面の中で必要に応じ、振り返りながら一緒に確認します。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して過ごせる集団の中で、過ごすためのルールを理解しながら、その都度、振り返り、伝え方や距離感を確認していきます。 ・相手の気持ちは自分とは違うことに気づき、いろいろな気持ちがあることを知り、相手の気持ちを想像できる環境と場面を設け、自分の気持ちを伝える練習をします。 ・見通しを伝え、納得して取り組めるように、変化する気持ちを理解しながら促し、集団の中でのルールや自分の役割、コミュニケーションの向上を目指します。 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に活動を楽しむイベントの実施 ・保護者会の実施 	移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方にも参加していただけるイベントの実施 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修 ・子ども部会への参加
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展（活動制作の展示、ワークショップの開催） 				